

西条ロータリークラブ 週報



インスピレーションになろう

週報 2019 年 1 月 24 日 1 月第 3 例会

例会日 木曜日 グランラセーレ東広島

事務局 東広島商工会議所会館3階

会長 山田 謙慈 幹事 奥本 哲之



本日の例会 年男の抱負 第2655回

- 12:30 点鐘 (山田会長)
ロータリーソング 「それでこそロータリー」
お客様の紹介 (廣幡副会長)
会長時間 (山田会長)
米山功労者表彰 要源会員 米山功労者第7回マルチプル
本人誕生日
藤本会員 (昭和 13 年 1 月 8 日) 岩井会員 (昭和 18 年 1 月 23 日)
松重会員 (昭和 32 年 1 月 5 日) 金好会員 (昭和 32 年 1 月 30 日)
平賀会員 (昭和 36 年 1 月 23 日)
夫人誕生日
佐々木 弘子 様 (1 月 8 日) 山田 恭子 様 (1 月 1 日)
上田 美智子 様 (1 月 3 日) 平賀 春 様 (1 月 22 日)
安武 由紀 様 (1 月 31 日) 森 由香理 様 (1 月 14 日)
結婚記念日
岩畔会員 (平成 9 年 1 月 15 日)
入会記念日
本田会員 (昭和 64 年 1 月 5 日) 小松会員 (平成 27 年 1 月 29 日)
会社創立記念日
平賀会員 (応永 20 年 1 月 1 日) 宗教法人西品寺
本田会員 (昭和 49 年 1 月 28 日) ㈱西条庭園土木
竹内会員 (昭和 50 年 1 月 17 日) 竹内南窓庵
- 12:40 会食時間
出席報告・スマイルボックス発表
委員会報告
幹事報告
- 13:00 本日のプログラム
年男の抱負 (今谷会員・菅生会員・森会員)
- 13:30 点鐘 (山田会長)

《幹事報告》

例会終了後、
理事会・創立
55 周年実行
委員会を開催
いたします。

お知らせ

★今後の例会スケジュール

- 1月31日(木曜日) 坪島経営労務事務所代表 坪島 栄太 様
- 2月 7日(木曜日) クラブ研修情報委員会 クラブ管理運営委員会 合同開催・勉強会
- 2月14日(木曜日) **例会休み**(2月11日祝日振り替え)
- 2月21日(木曜日) 新入会員卓話 森 哲也 会員

★今後の地区スケジュール

- 2月 9日(土曜日) インターシティミーティング (於 呉阪急ホテル)
 - 9:30～登録受付
 - 10:30～第1部 基調講演「未来治療に及ぼす人工知能(AI)のインパクト」
 - 12:00～第2部 ロータリー財団地区補助金事業 事例発表
タイ北部サーファンサンティパーブ財団「ナマズ養殖地」事業の報告
 - 13:00～懇親会

《インターシティミーティング (Intercity Meeting) とは》

都市連合会の略称。グループ、分区単位で、ガバナー補佐が主催して開かれる。近隣都市数クラブが集まって開かれるロータリーの会合。討論の主な内容は、4大奉仕部門をカバーしつつ、ロータリーの特徴やプログラムなどを検討する。クラブ会員、全員参加のこの会合の目的は、会員相互の親睦と知識を広めることであって、さらに、会員にロータリー情報を伝え、奉仕の理想を勉強するために開催される。決議や決定はない。形式も講演、フォーラムなどいろいろあり、懇親会も併せて開催される。IMへの出席はメイクアップとなる。

会長時間 (1月17日例会)



皆さんこんにちは、ご健勝のことお喜び申し上げます。

本日は、島会員にお願いをして白牡丹酒造株式会社において例会をさせていただくこととなりました。太田専務様をはじめ本社の皆様方にはお忙しい時期にも関わらずご配慮いただきましたこと心より御礼申し

上げます。

また昨日よりロータリーの友よりお二人の方が取材においでいただいております。昨日はダイソーの矢野会員、賀茂鶴の藤原会員、そして夜は前垣会員邸での懇親会と大変お世話になりました。今日からも会員の皆様にご協力をいただくことも多いかと思いますがどうかよろしく願いいたします。

予定が立て込んでおりますことで、本日の会長時間は短縮とさせていただきます。

ありがとうございました。



例会プログラム 職場例会 於:白牡丹酒造



平賀職業奉仕委員長

今月は職業奉仕月間です。そこで本日は島会員の職場であります白牡丹様のお世話になり、職場例会を開催させていただきました。

職場例会とは他の職業への理解を深める為に、会員又は会員外の様々な職場を訪問し、そこで例会を行うというプロジェクトです。そして、会員各自がその職業への理解を深めると同時に、その職場の優れた所を学び、自らの職場の職業道徳並びに品位を高

める事を目的としています。

本日は酒どころ西条の老舗企業であります白牡丹様の事業、歴史について、会員皆様の理解を深めて頂きたく思っています。

また、今日は「ロータリーの友」の取材の方も来てくださっています。後ほどライターの方から司馬遼太郎氏の取材経験談の卓話を頂戴する事になっています。どうぞ皆様、お楽しみにしてください。



島会員 白牡丹酒造(株)の会社概況

皆さま。本日は、ようこそ白牡丹酒造株式会社にお運びをくださいました。

このあと、村井様の卓話がございますので、職場例会としてのルーチンの部分は、手短にお話ししたいと思います。

さて、最初に、資料の「会社概要」をご覧ください。

白牡丹は、製造会社たる白牡丹酒造株式会社と販売会社たる白牡丹株式会社の2社をあわせて、実質的にひとつの会社であります。私が代表を務めておりますのは、白牡丹酒造(株)の子会社たる

白牡丹(株)であります。

創業年は記載のとおりで、白牡丹酒造(株)の創業年は1675年(延宝3年)、販売会社たる白牡丹(株)の創業年は、酒類販売免許の附款撤廃が認められるようになった1971年(昭和46年)です。ただし、白牡丹(株)の酒類卸売免許は、白牡丹酒造(株)の製造した商品に限る、との附款付の免許であります。

年商は、平成30年3月期で、14億4,500万円、数量では、2,320kl、石数換算で12,800石余りです。

事業所は市内4カ所に点在しており、本社はこちらの西条本町15番5号に置いております。資料の「製造工程図」もご参照いただきながら説明致しますと、醸造場としては、本社所在地に天保蔵と創業蔵である延宝蔵、そして、八本松東1丁目に米満醸造場があり、原酒を醸造場から運んで、瓶詰製品化工程は、吉行東2丁目に所在する記念工場で行っております。国内販売は、西条栄町に所在する子会社たる白牡丹(株)で一手に担っております。さて、本日は、通常の職場例会と異なり、酒造現場の見学を行いませんので、酒造りのお話ではなく、観光客の方の対応をしていると時々質問のある、白牡丹酒造(株)の本社が、本来の創業の地である延宝蔵ではなく、なぜ天保蔵におかれているのか、についてお話し致します。

資料として添付しております、安芸國広島藩藩札のコピー、島家(嘉登屋)系譜、株式会社サンヨー堂のホームページの抜粋コピーをご参照ください。

白牡丹酒造(株)の本社がなぜ天保蔵に置かれるようになったのかは、創業家の島家の系譜と深く関連しております。資料の〇〇代という代については、亡き先代 島 英三 が信奉していた、先祖の話にもとづいて記載しております。

島家の、ご当地西条での初代は、二代寶光院珠山元珍居士と墓碑に刻まれている人です。これより前の時代については、墓碑は存在しません。そして、この墓碑には、埋葬者の俗名が記されておられません。島家の者は、この墓の主は島 彦太郎忠正だ、と申し送られてきました。そして、三代仁左衛門乗正の時、子宝に恵まれ、本家と四つの分家ことができました、坪屋(本家)、尾道屋、上野屋、大田屋、嘉登屋です。

嘉登屋として分家した、嘉登屋としての初代、坪島(島)六郎兵衛晴正は、延宝蔵の地に、延宝井という水を得て、酒造りをはじめました。以降、小十郎信鋭、信正、晴廣と家業は順調に発展し、八代六郎兵衛晴鋭の時、赴任していた長崎の地から江戸への帰途についていた、大田南畝の逗留という、当時の坪島(島)家にとって、たいへんな栄誉を得ました。この時のことは、『小春紀行』に記載があります。

それから幕末にかけてが、嘉登屋が繁栄した時期であり、小十郎信英の時、1839年(天保10年)京の鷹司家より、「白牡丹」の銘が記された自筆の扁額を賜り、酒銘を得ることが

できました。そして、英安の時、明治維新を迎えます。

明治維新で島家は存続の危機を迎えます。藩札のコピーにあるとおり、当時、島家は浅野藩と深くかかわりを持っていたようです。逼塞の憂き目にあい、この時、江戸時代に蓄積してきたものは、ほとんど散逸してしまったと思われます。

この危機を救ってくれたのが、逸見家です。逸見家は江戸時代に坪島家から分かれた一族で、資料の写真のとおり、江戸時代の末に、姓を坪島から逸見に改姓し、現在に至っています。その逸見家の分家、通称東逸見家に、島家は助けてもらうこととなりました。東逸見家の初代逸見真四郎は、小十郎信英と同時期を生き、その子、逸見勝誠(現在の㈱サンヨー堂の創業者)の弟、十一代島博三勝恭を養子として島家に手をさしのべてくれました。博三勝恭の妻は、延宝蔵で生まれたイクです。

勝恭の生家は、天保蔵であり、勝恭が島家の養子に入った時、天保蔵では当時「日霞正宗」という酒を、逸見家が醸しておりました。逸見家は、真四郎の子、勝誠が缶詰事業を立ち上げ、東京に進出したため、弟の博三勝恭が、天保蔵を「白牡丹」の根拠と定め、創業の地である延宝蔵も合わせて、「白牡丹」を醸すこととなり、現在に至っております。このことが、白牡丹酒造(株)が本社地を、天保蔵の所在地である、西条本町15番5号にしている理由であります



卓話者：村井 重俊 様（週刊朝日編集部）

「街道をゆく」の担当記者からみた作家の司馬遼太郎さん

○司馬遼太郎という人

○現在60歳、31歳のときに「街道をゆく」の担当者となる。1989年暮れで司馬さんは66歳。それから1996年まで約6年、担当者からみた司馬さんについて。

○司馬さんに会うまで

新聞より雑誌記者 大坂転勤 候補者の離脱から担当者へ 盲点は

「街道をゆく」

○担当者事始め

サービス精神豊富で聞き上手 司馬さんの興味（三つ子、暴動、横山やすし、人事やゴシップ→「関ヶ原」家康と本多定信 みどり夫人の影響力 須田剋太の死 担当者になって会社から心が離れる→司馬学校 教育が実らない

○「燃えよ剣」 子母澤寛「新選組始末記」 三岸光太郎と節子 札幌南高校 「オホーツク街道」

○竜馬がゆく

忍豪作家からの脱皮 女性になったつもりで書く→どういう人間に惚れるか→薩長同盟 東山三十六峰 恋人よりも夫向き 産経新聞連載（1962年6月～1966年5月）総部数2500万部 登場人物1149人（出久根達郎さん）龍馬ではなくて竜馬 和田宏

（文藝春秋担当者 「司馬遼太郎という人」文春新書）寝待ノ藤兵衛、遊女冴 お田羈さま 千葉さな子→伝統的な手法 竜馬の剣と恋の物語から歴史小説への転換→余談、恋愛

と権力を書くのが小説

○「事実（ファクト）をいくら積み上げても真実（トルウ）には至らない」（和田宏さん）
史料集め→玉石混交 えり分けは自分。娯楽であり、勝負 人任せにはできない ただし、
それだけでは小説はできない。推論→論理構築→最後は直観。小説は中華鍋→コックの腕
「司馬遼太郎は医者」（山口瞳）

○独り歩きする「竜馬」

1985年高知市での講演

「高知県人は坂本龍馬に頼りすぎてはいけない」空港での出迎え失敗 冷や汗 福島県の
先輩（佐藤訪米阻止・ボーリング・全共闘・ワセダ・北のまほろば） 平井加尾の造型（先
達 平尾道雄さんに相談）菊枕（おりょう）→史実とは何か

例会通信（1月17日例会）

★お客様の紹介

村井 重俊 様（ロータリーの友 取材ライター）
佐藤 敬 様（ロータリーの友 取材カメラマン）
東広島RC 4名



ロータリーの友『クラブを訪ねて』取材記



1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか





出席報告 (1月17日例会)

例会出席は正会員の最も基本的な責務で、会員が互いに胸襟を開いて親交を深め、奉仕を語り合う機会です。会員は、クラブで定めた前半・後半の6ヶ月間に、自己の所属クラブでは、それぞれ30%以上出席し、且つ、年間通算の出席率は出席補填を含めて50%以上であることが必要です。また、例会は概ね1時間ですが、少なくともその60%は会場に止まる義務があります。

出席の補填 (メイクアップ)

クラブの例会に出席できなかった場合には、例会前

- ◆会員数 36名
- ◆出席者 30名
- ◆来訪者 2名
- ◆欠席者 5名
- ◆免除者 1名
- ◆12月20日の欠席者 11名
- ◆メイクアップ 11名
- ★出席率 100%
- ★通算出席率 99.62%

後の14日以内に他のロータリークラブの例会に出席すること。出席補填は、訪問先での出席証明を受け取り、自クラブに郵送または直接幹事に提出または申告することで完了します。

近隣ロータリークラブ 休会／例会変更（例会変更時のみ、受付メイクアップ可能）

受付メイクアップ(12:00より30分間)の際は会員証を呈示し、氏名を自署(代理人不可)する。同時間2ヵ所以上で実施の場合、1ヵ所でのメイクアップのみ有効。

- ★1月25日(金) 広島城南RC(例会変更) 受付:メルパルク広島
- ★1月28日(月) 東広島21RC(例会変更) 受付:グランラッセ東広島
- ★1月28日(月) 広島東南RC(例会変更) 受付:ANAクラウンプラザホテル広島
- ★1月31日(木) 広島北RC(休会) 受付:ホテルグランヴィア広島
- ★2月4日(月) 東広島21RC(休会) 受付メイクアップなし
- ★2月4日(月) 広島廿日市RC(例会変更) 受付:広島サンプラザ
- ★2月6日(水) 広島陵北RC(例会変更) 受付:リーガロイヤルホテル広島
- ★2月12日(火) 東広島RC(休会) 受付メイクアップなし
- ★2月12日(火) 広島RC(休会) 受付:リーガロイヤルホテル広島
- ★2月13日(水) 広島空港RC(休会) 受付メイクアップなし
- ★2月14日(木) 広島安佐RC(休会) 受付:リーガロイヤルホテル広島
- ★2月20日(水) 広島東RC(例会変更) 受付:ホテルグランヴィア広島
- ★2月21日(木) 広島北RC(例会変更) 受付:ホテルグランヴィア広島
- ★2月21日(木) 広島西RC(例会変更) 受付:ANAクラウンプラザホテル広島

ロータリー特別月間 Special Month in Rotary

クラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー(Rotary International)理事会が指定した月間のことです。

2015-16年度より、新たに理事会は奉仕の重要性を認識し、ロータリーの6つの重点分野の月間が取り入れられた。

1月:「職業奉仕月間」 (Vocational Service Month)

2004年11月の理事会決定59号で決定され、10月を指定されておりましたが、2014年10月理事会で大幅な特別月間の変更がありました。

それに伴って1月へ移行された職業奉仕を強調する月間である。

職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理念の実践をロータリーが培い、支援する方法である。「ロータリーの目的」の第2項は、職業奉仕が基本となるもので、特に以下のことを奨励し、育成する。

1. 職業上の高い倫理基準を保つこと;
2. 役立つ仕事はすべて価値あるものと認識すること;
3. 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

(ロータリー章典 8.030.1. 職業奉仕に関する声明より抜粋)

西条ロータリークラブ

創立 1964年5月11日 例会日 毎週木曜日 12時30分~13時30分

事務局 東広島商工会議所会館3F 東広島市西条中央7-23-35

TEL(082)420-0320 FAX(082)420-0319

西条RC公式ウェブサイト <http://www.saijo-rc.jp> メール saijorc@eagle.ocn.ne.jp

会長 山田 謙慈 副会長 廣幡 勝祐 幹事 奥本 哲之 副幹事 菅生 一郎